

27年度 議会報告会分科会に寄せられた意見・要望 社会文教委員会

全体 番号	番号	要望先 議会・市	意見・提言・要望等 取扱結果「A」…委員会として調査・研究、「B」…行政評価の評価対象、「C」…その他聞き置く	ブロック	分科 会	委員会の 取扱結果	取り扱い結果に至った理由等
66	1	議会	・若者の定住や移住者を増やすには、この地域の自然と健康を売りにする。そのためには、スポーツが大切。この地域には、施設が不足している。総合型(一箇所では様々なスポーツや交流ができる)大型施設が必要である。同様意見2件 中部	中部	1	B	行政評価の過程で研究する
67	2	議会	・飯田市には県レベルのスポーツ大会が開催できる施設が整備しておらず、とても残念だ。リニアが止まる市なので、それにふさわしい施設、若者が残りたくなるような施設を作って欲しい。市独自では無理だと思うので、県議会議員に働きかけたらどうか。	西部	1	B	行政評価の過程で研究する
68	3	市	・小笠原書院は大事な地域の宝だが、竹藪の過繁茂に苦慮している。来館者も減少している。インターネットによるアピールをお願いしたい。トイレも使い勝手が悪く、外で済ませる来館者もいる始末である。	西部	3		市へ申し送る
70	4	市	・子どもの医療体制が伊那中央病院では24時間体制となっている。そのため飯田の人も伊那へ行ってしまう。	中部	2		救急医療、夜間診療、日曜当番医の病院群輪番制の周知を図るよう市へ申し送る
71	5	市	・お母さん方も会社を休まなくてはいけないし、若い人たちがこれから自分たちの生活していく中で「子どもが病気になる」といって頻りに会社を休むということは色々な面で影響があるので、その点を考慮してもらえば子育てに専念できるのではないかな。	竜東	2		病児病後児保育の制度の周知を図るよう市へ申し送る
72	6	市	・子ども支援に関して、上村の保育園が閉園の危機(園児が7人となった)。今年度で保育園が打ち切りという話を聞いた。保育園は延長していただくよう要望する。	遠山	2		合併協議で約束事項であるため市へ申し送る
73	7	市	・上村中の後利用を要望する。学童保育や介護施設ができるようにしたらお互いの交流ができるのではないかな。	遠山	2		地元では検討会議を立ち上げて協議に入っているため、当面推移を見守る。市へ申し送る
74	8	議会	・義務教育の補助として臨時福祉給付金が支給される時の家族の話題として給食費の滞納者がいると聞き、現金を支給するよりも給食費の財源に充当したほうがいいのではないかな。	竜東	2	C	給食費の滞納実態が少なく当面は聞き置く
75	9	議会	・給食費の滞納には二種類あり、「払いたくても払えない人(本当に払えない人)」と「払いたくなくて払わない人」がいる。子ども手当は給与所得に関係なく一律に支給されるため「バラマキ」みたいである。これを給食費をタダにする財源として充当すれば、ご飯を食べられない子供も昼食だけは給食で満たすことができるのでそうしたほうがいいのではないかな。	竜東	2	C	同上
76	10	議会	・介護サービスについて、家族がいる人、いない人で受けられるサービスが違っている。同じ費用を払っているのに不公平。見直すべきではないかな。	遠山	2	C	個々の事情により異なるため聞き置く
77	11	議会	・介護サービスについてヨーロッパのような社会の構築が必要。親を見る思想が薄くなっている。遠山は在宅医療が難しい地域。片町先生がいるときは安心感があった。	遠山	2	A	在宅医療サービスに対する検討を(テーマ設定を検討)
78	12	議会	・地域包括支援センターは現在4か所。生活圏に対応して7か所に増やしていくことが市は10年後というが、少しでも早くなって欲しい。	中部	2	A	中学校区に地域包括支援センターを検討(同上)
79	13	議会	・在宅で介護している親が要介護5と判定された。自宅ですべての介護ができない状況。介護施設を増やすことを希望する。特養等の入所施設を増やす。同様意見3件 北部2	中部	2	A	施設介護の実態を調査検討(同上)
80	14	議会	・地域包括システムが平成28年から導入される。民間参入となるので議会が目を見守って欲しい。	遠山	2	A	地域包括ケアシステムの構築を調査・検討(同上)
81	15	議会	・市長は介護ベッド数が確保されていることを言っていたが、介護を支える側が少ない。介護職員の取り合いが行われているのが現状。介護の担い手を増やすことが必要である。	遠山	2	A	介護労働者の現状を調査(同上)

27年度 議会報告会分科会に寄せられた意見・要望 社会文教委員会

全体 番号	番号	要望先 議会・市	意見・提言・要望等 取扱結果「A」…委員会として調査・研究、「B」…行政評価の評価対象、「C」…その他聞き置く	ブロック	分科 会	委員会の 取扱結果	取り扱い結果に至った理由等
82	16	議会	・在宅介護のサービスを受けるとなると、家族の負担が大きくなることは間違いない。 一人の介護をするということになれば、もう一人必ず家にいなければならない。今のご時世、財政面から見て完全に家に入ってしまうと収入が減少し家計が苦しくなる。働ける人＝若い人であるので、少子高齢の均衡から見ても若い人が少ない。親を見るということで家に入ってしまうと負担が非常に大きくなってしまう。	竜東	2	A	在宅介護の現状と働き続けられる社会(同上)
83	17	議会	・地域包括ケアシステムを入れるにあたり目を向けなければいけないことは、高齢化も目を向けなければならないが、(少子高齢人口減少社会に突入した中で)若い人たちをどう支えていくのかが重要な意味を持つてく と思う。	竜東	2	A	地域包括ケアシステムの構築を調査・検討(同上)
84	18	市	・保健福祉委員をやっていて、70歳以上の1人暮らし方の相談に乗ったところ介護保険の使い方が分らない。 介護度はとれたがどこに相談に行ったらよいのかもわからない。相談する場所・利用方法など説明が不足し ていると思う。地域包括センターもどこにあるのかも含め、我々にも利用者にも周知徹底していただきたい。	北部	2		周知徹底を市に申し送る
85	19	議会	・少子化の中で親の介護する現役世代(特に40歳代)で、介護のために職場を去らなければならないという事 例がある。そういった状況も把握してほしい。去られる側の使用者側も指導的な立場の人材を失うことは痛手 である。	北部	2	A	家族介護の実態と仕事の両立(同上)
86	20	市	・施設へ行くと3/4が女性。施設では職員がなんでもやってくれるので、(本人は動かなくなる)在宅で介護し たほうが、自立できる。自分の父母は自分で看取った。自分の時は施設になると思うが、自立してできるだけ やっていきたい。自立心や健康寿命をできるだけ長くしていきたい。	西部	2		健康寿命延伸として昨年提言したため聞き置く
87	21	議会	・看取りも在宅の方向になっていく。訪問介護が今後は必要になる。	中部	2	A	地域包括ケアシステムの構築を調査・検討(同上)
88	22	市	・高齢者クラブが県では10地区にあるが連合会には2地区しか入っていない。(上山、中平地区)伝達事項が末 端まで届かないので、連合会へ加入の方向を促されたい。	中部	2		市に申し送り、加入促進を要請する
89	23	市	・公民館活動に参加する人は健康な人や意欲的な人が多いが、その人たちだけが住民ではない。 ・例えば引きこもり等の人も含めた区別をしない皆が集える講座について、橋北では案を温めているが、これ は公民館だけではなくまちづくり委員会や保健所等と一緒に企画して、線引きなく色々な人が集えお互 いに元気が出る活動を考えている。	飯田	2		市へ申し送る
91	24	市	・飯田には老人大学を始めとして多くの学習の場があり、皆学習には参加するが、学習したことを地域を豊か にすることにとどめるのではなく生きがいとして自分たちに何ができるのかというその次の行動へと発展して いかない。 ・公民館活動でも講座を開催するだけでなく、次の展開に繋げることを考えなければいけないと思うので、一 緒に考えていただきたい。	飯田	2		27年度の行政評価で見直しを市へ提言
92	25	市	・高齢者の健康維持のための体操のことで。リハビリではなく健康維持するための体操を指導する人材育成 をしていただければと思う。	北部	2		健康寿命延伸として26年度市へ提言
93	26	議会	・青空スクールの予算について、前年度は約40万円、今年度は約30万円と1/4カットされたのに対し、子ども の人数は前年度の約1.5倍となっている。ボランティアで少ない予算の中でやりくりをしているが、なぜカットさ れたのか。	飯田	2	C	聞き置く
94	27	市	・市立病院で手術後の若い医者の対応で不快な思いをして以来、市立病院は使っていない。患者や家族の身 になった対応が欲しい。	中部	2		市立病院へ申し送る

27年度 議会報告会分科会に寄せられた意見・要望 社会文教委員会

全体 番号	番号	要望先 議会・市	意見・提言・要望等 取扱結果「A」…委員会として調査・研究、「B」…行政評価の評価対象、「C」…その他聞き置く	ブロック	分科 会	委員会の 取扱結果	取り扱い結果に至った理由等
95	28	市	・市立病院の医者への患者への態度には課題がある。	西部	2		市立病院へ申し送る
96	29	市	・急病にかかり民間病院にお世話になった。病院に長く通っていると話友達も増えてくるが、その中で「市立病院は設備はいいが職員の対応は非常に公務員的だ、事務的だ」という話を聞き、職員の教育もしっかりとやって欲しい。	竜東	2		市立病院へ申し送る
97	30	市	・2ヶ月に一度市立病院で検査をしている。当然予約してくるが、予約時間より診てもらう時間が遅くなるのはなぜか？理由はあるのか。	北部	2		市立病院へ申し送る
98	31	市	・（市立病院で）患者の名前を呼ぶときなど、マスクをしていたり声が小さい職員が見受けられる。耳が遠くなったお年寄りのことも考えて、はっきりと大きな声で呼んでいただきたい。	北部	2		市立病院へ申し送る
99	32	市	・市立病院の今後の方向性について話題が出たが、患者の側からすればいい病院で診察してもらいたいというのが心情である。市立病院の決算では黒字化している中、今後よりよい診療を行っていくための方向性として「医療費を安くする」「いざというときにために蓄えていくのか」等どこを目指そうとしているのか。	飯田	2		市立病院へ申し送る
100	33	市	・市立病院は、専門的な立場で高度な医療を必要とする人を中心に対応していただくのが本来かと思う。	飯田	2		市立病院へ申し送る
101	34	議会	・市立病院へ行きたいが、待ち時間が長く、半日では終わらない。市立病院に行くには紹介状が必要になるが、頼んでも紹介状を書いてくれなかったりする医院がある。	西部	2	A	地域包括ケアシステムの構築を調査・検討(同上)
102	35	議会	・独居老人について訪問診療が定期的にできていない。出張費や薬代など高額なことで難しいかもしれないが安心して暮らすことに成っていない原因と思われる。	中部	2	A	地域包括ケアシステムの構築を調査・検討(同上)
103	36	議会	・遠山ではいつでも診療できる体制は無理。阿南病院でも30分くらいかかる。高齢者で具合の悪い人は集会所にも行けない、またその人を連れてこれない状況。かかりつけ医は時間外にならばいい。	遠山	2	A	地域包括ケアシステムの構築を調査・検討(同上)
104	37	議会	・地域医療システムで在宅医療が書かれているが、遠山では医者がいる時間が少ない。夜間になると不安。	遠山	2	A	地域包括ケアシステムの構築を調査・検討(同上)
105	38	議会	・千代・上久堅・龍江は病院に遠く行くのに20分から30分かかり遠い。子どもが急に具合が悪くなったときに近くの開業医や診療所へ電話しても「今日は休診」だと「今日はやっていない」ということが多く、なかなか「かかりつけ医」という話がでても医者を特定できない。	竜東	2	A	地域包括ケアシステムの構築を調査・検討(同上)
106	39	市	・一番近い市立病院でも20分や30分はかかる。市立病院がやっていないときは小児科を転々とするところから、具合が悪くなったときにすぐに診療を受けられる病院があると非常に助かる。	竜東	2		救急医療、夜間診療、日曜当番医の病院群輪番制の周知を図るよう市へ申し送る
107	40	市	・夜の緊急医が方々にあると地域の人たちも利用しやすいのではないか。	竜東	2		救急医療、夜間診療、日曜当番医の病院群輪番制の周知を図るよう市へ申し送る
108	41	議会	・在宅医療と看取りの関係について、診療所(開業医)の関係はある程度家まで来てくれるが、他の病院はなかなか来てくれない。その体制を地域包括ケアシステムにするということは先生たちの教育が大変なことではないのか。実際、かかりつけ医は昼間は診てくれると思うが夜は駄目だ。	竜東	2	A	地域包括ケアシステムの構築を調査・検討(同上)
109	42	議会	・在宅医療について、高齢者の方が診療所の先生が夜飛んで行ってくれるが、特に「看取り」までとなると本当に対応していけるものなのかどうか疑問である。	竜東	2	A	地域包括ケアシステムの構築を調査・検討(同上)

27年度 議会報告会分科会に寄せられた意見・要望 社会文教委員会

全体 番号	番号	要望先 議会・市	意見・提言・要望等 取扱結果「A」…委員会として調査・研究、「B」…行政評価の評価対象、「C」…その他聞き置く	ブロック	分科 会	委員会の 取扱結果	取り扱い結果に至った理由等
110	43	議会	・飯田市には回復期(リハビリ含む)の病院が少ない。不足していると体験から感じているので充実していただきたい。同時に在宅医療も充実していただきたい。	北部	2	A	地域包括ケアシステムの構築を調査・検討(同上)
111	44	議会	・父親のことで。市立病院で手に負えないということで大学病院を紹介された。病気は治り地元に帰ってきたがリハビリする(場所)病院がなかった。病後のケアはとても重要である。机上で医療連携を言うけれども現実 は厳しい。	北部	2	A	地域包括ケアシステムの構築を調査・検討(同上)
112	45	議会	・別居暮らしをしていた親が高齢化してきたため同居するようになり、かかりつけ医が必要になって悩んだことは、大部分の医者が専門化しているので総合的に判断して対応してくれる方がいると助かる。	飯田	2	A	地域包括ケアシステムの構築を調査・検討(同上)
113	46	議会	・簡単な病気であれば医者同士、専門医同士が連携(診療連携)して大病院へ行かなくても対応できる体制が必要ではないかと感じた。	飯田	2	A	地域包括ケアシステムの構築を調査・検討(同上)
114	47	議会	・主治医と話す中で内科の中にも細分化された専門領域がありその症状を診る専門医がいなかったと言われた。患者側が積極的に話をして求めていかないと、内科という大枠に包み込まれてしまい「内科はすべて内科」と解釈していたことは個人的にまずかったと感じた。	飯田	2	A	地域包括ケアシステムの構築を調査・検討(同上)
115	48	議会	・飯田もご多分に漏れず高齢化社会で、医療についてはどの先生も頑張っていると思うが、高齢者に力を入れるとするならば日本の中でも稀にみる専門医を招聘し、飯田の医師会を改革していく先生がほしいと感じている。	飯田	2	A	地域包括ケアシステムの構築を調査・検討(同上)
116	49	議会	・たまたまある病院で「飲み込み」ができないことがあり、4月に東京から日本の中でも多くの実績をもった専門医が招聘され、医師会の中でもきつとこの地域で専門分野でのリーダーを担う人物と言われ囁かれ、また、飯田から医療を発信したいという情熱を持っている先生に出会ったことから、特徴をもって医療に携わってもらえる先生が増えるとありがたい。	飯田	2	A	地域包括ケアシステムの構築を調査・検討(同上)
117	50	議会	・丸山・羽場地区では、中央道より西側には開業医は1軒、介護福祉施設はゼロであるので、いざ行こうとしたときに問題となるのは足をどうやって確保するかである。	飯田	2	C	聞き置く
118	51	議会	・保健師は現場で市民と接するのが原点。現在は事務の仕事が増えて保健師の原点が忘れられている。	遠山	2	C	事務も現場も大切にしたいため、聞き置く
119	52	市	・健康寿命延伸都市を目指すのだったらまず飯田市はどの辺にあるのか数字の把握が必要だ。	西部	2		数値目標は市の計画で検討するよう申し送る
120	53	議会	・特定健診の受診率を上げるには、検診場所を増やせばよいのではないか。	遠山	2	B	行政評価の過程で検証する
121	54	議会	・特定健診の受診率が低い事を始めて知った。医療費の軽減につながることをもっと宣伝すればよい。	遠山	2	B	行政評価の過程で検証する
122	55	議会	・がん検診の場合、国ではバリウムだけでなく胃カメラも選択できるよう来年平成28年4月から投入しようとしているが、他市では実施可能としているが飯田市ではその体制が取れるのか？是非体制を整えて欲しい。	北部	2	B	行政評価の過程で検証する
123	56	市	・市役所でやっていただいている検診車での検診をしていただいたところ再検査となったが、市立病院を紹介していただいて早速にかかることが出来た。ありがたかった。	北部	2		市及び市立病院へ伝える
125	57	議会	・特定健診の受診率が低いことは認識しているが、どの世代の受診率が悪いのか、なぜ受診することができないのか等をしっかりと分析してほしい。	飯田	2	B	行政評価の過程で検証する
126	58	議会	・(分科会で)紹介いただいたシステムは大変そうだ。	竜東	2	A	地域包括ケアシステムの構築を調査・検討(同上)

27年度 議会報告会分科会に寄せられた意見・要望 社会文教委員会

全体 番号	番号	要望先 議会 市	意見・提言・要望等 取扱結果「A」…委員会として調査・研究、「B」…行政評価の評価対象、「C」…その他聞き置く	ブロック	分科 会	委員会の 取扱結果	取り扱い結果に至った理由等
127	59	市	・国保の収納率を上げる工夫をしたほうが良い。贅沢をしている金持ちから税金を多く取るようにしたら良い。子供の給食費をタダにしても良い。	北部	2		意見として市へ申し送る
128	60	議会	・療費は70歳までは3割負担、75歳まで2割負担、75歳以上は1割負担となっている。 ・団塊の世代、高齢者に対して特色ある優遇政策を飯田市としても考えてほしい。	飯田	2	C	聞き置く
129	61	市	・救急車を呼ぼうか迷う時、相談の電話したい、そういうところが欲しい。救急車を呼ばなければいけない程度がわかると良い。	西部	2		意見として市へ申し送る
193	62	議会	・下栗を支えてゆくには高齢者だけでは困難。キーとなる若い人が入り寄り添って手助けする人的支援が必要。	遠山	3	B	行政評価の過程で検証する
204	63	市	・飯田市の文化財旧滝沢医院は現在、管理者不在の空き家です。市の施設として活用することがベストと思われる。検討してもらえないか。	竜東	1		教育委員会へ申し送る
205	64	市	・若者に飯田市に住みたいという気持ちを持たせるべき。保育園に子どもを預けて働きたくても、入園規定に問題があり入園できない状況ある。	中部	1		意見として市へ申し送る
250	65	議会	・市立病院に入院して治療をしていて、退院するのが早すぎるという声をよく聞きます。	遠山	2	A	地域包括ケアシステムの構築を調査・検討(同上)
251	66	議会	・給食費の未納問題は公平性を保つために裁判にでもかける方が良い。	竜東	2	C	聞き置く
252	67	市	・介護問題では上久堅にはデイサービスのような場所が必要。	竜東	2		意見として市へ申し送る
253	68	市	・未満児の保育園がない。	竜東	?		意見として市へ申し送る
254	69	議会	・医療のみならず社会教育課題にも触れたかった。市として、社会教育費を減の方向でなく、生活安心に向けて努力願いたい。	竜東	2	C	聞き置く
255	70	議会	・高齢化で老老介護の現状だが、現実には経済的、身体も限界がありもっと公的支援が必要だ。在宅介護も理想だが、可能となる医療体制の充実が求められる。	中部	3	A	地域包括ケアシステムの構築を調査・検討(同上)
256	71	市	・三種診療所は、月曜日が診療日であるが、祝日等で休診となる日が7日前後ある。高齢者の受診がほとんどであり、1週間抜けると不便との声がある。診療を確保するため、診療日(曜日)の変更をお願いしているが、返答がない。議会からも意見を添えて要望いただきたい。	中部	3		意見として市へ申し送る
257	72	市	・薬を何種類も飲んでいるが本当に必要か？母親と別居している時、薬がいっぱい残っていた。ジェネリック等をもっと使用したり、適正に飲んでいるか確認、指導の必要があるのでは。同様意見2件 飯田	西部	2		市及び市立病院へ申し送る
258	73	議会	・医療関係は、生きていく上で、重大な問題だと思います。だから、みんなが安心して生活できるよう考えていただきたいと思っています。	北部	2	C	聞き置く
259	74	議会	・医療、介護サービスの提供体制改革後の姿は理想的な姿なので、是非めざして欲しいと思っています。	北部	2	A	地域包括ケアシステムの構築を調査・検討(同上)
260	75	議会	・大町市立HPで産婦人科不足が問題になったが、飯田市立HP・椎名レディースクリニック等で全体が回っているのか。万が一、大町のようになった場合のリスク管理はできているのか。妊婦が駒ヶ根や諏訪まで行って出産をすることのないような体制づくりが必要では。(里帰り出産も含めて)	北部	2	C	周産期医療の体制が確立されているため、聞き置く

27年度 議会報告会分科会に寄せられた意見・要望 社会文教委員会

全体 番号	番号	要望先 議会・市	意見・提言・要望等 取扱結果「A」…委員会として調査・研究、「B」…行政評価の評価対象、「C」…その他聞き置く	ブロック	分科 会	委員会の 取扱結果	取り扱い結果に至った理由等
261	76	議会	・里帰り出産できる場が限られており、市に帰ってくる可能性のある若い世代が産める場が少ない。 ・市立病院も受入れの限界があり、早期退院が強いられ、十分なサービスを受けられない人もいる。	北部	2	C	周産期医療の体制が確立されているため、聞き置く
264	77	市	・市立病院は待ち時間が長く、紹介状もないとみてもらえないので嫌いです。みんな横柄です。伊那市の中央病院くらい、親しみやすい病院にして欲しいと思います。	北部	2		市立病院へ申し送る
265	78	市	・福祉タクシー(乗合い)は、飯田市内でも山間部へは普及しているが、今まで市街地へ近いという理由で上郷地区は後回しになってきた。地域内の商店が次々となくなり、買い物や通院のための移動手段を早急に進めて欲しい。 ・アンケートや意見集約の機会はあったが、実施するまでのロードマップを示して欲しい。	北部	2		市へ申し送る
266	79	市	・社協で行って、(福祉有償)移送サービスの対象を広げて、移動車の稼働率を上げて、フル活用すべきと思います。	北部	2		市へ申し送る(市を通して社会福祉協議会へも)
268	80	市	・福祉のこと、障害者のこと、その支えとなる家族のこと、どうお考えでしょうか。これからの若者、精神を患う方も増えます。働きざかりの男の人が老親の年金で暮らす。そんな方たちをどう考えますか。グループホームも地域にあります。社会の地域の方たちがどう支えますか。うもれた人達が亡くなり、事件を起こしてしまいます。	飯田	2		市へ申し送る
269	81	市	・高齢者のために「にこやか健康教室」ということをしていますが、公民館の建物3階まで行くのが大変と言う意見が多数あります。お金のかかることですが、建物について検討していただきたいと思います。	飯田	2		古い施設の課題として、「飯田市公共施設マネジメント」の中で検討されるよう市へ申し送る
270	82	議会	・健康診断、予防接種を無料、又はもっと安くして、多くの人が病気になる前に予防したい。ちなみに私は、10年に1回くらいしか病院に行かないため、かかりつけ医はない。人間ドック等は良く受けるが高い。	飯田	2	C	聞き置く
271	83	市	・高齢者の活性化として、公民館(まちづくり)で行っているが、参加者が少ないとの問題がある。各地域の集会所へ計画を立て、出前勉強会をしたらどうでしょうか。同じ地区であれば知り合いもいるが、参加者が多くなり、活性化すると思う。例:パソコン教室、他。高齢者に何をしたいか。聞き取り調査も必要だと思う。	飯田	2		27年度の行政評価で市へ提言
272	84	市	・小中一貫教育の評価をすべし。	飯田	2		市へ申し送る
273	85	議会	・医療システムで、高度急性期病院の位置づけの明確化と更なる高度医療機関との連携を位置づけた方が、総合的に安心したシステムとなる。	飯田	2	A	地域包括ケアシステムの構築を調査・検討(同上)
274	86	市	・丸山児童センター新築要望。放課後こども教室の運営について。将来、少子化のため、新築にはとの意見がありますが、子育て支援、今後安心して働けるため、又、子育て中の方々が意見交換できる場としても、しっかりとした独立した施設を今の西側の野菜、稲作をしている場所等へどうでしょうか。放課後こども教室が、70名の登録があり、本年度から活動場所が変更となりとても不便です。是非、一考をお願いしたい。	飯田	2		教育委員会へ申し送る
275	87	市	・急病で市立病院にかかりました。救急車で行かなかったため、転げる程痛くても夕方6時に行ったのに、12時にやっと診察してくれました。結局入院となりましたが、専門医が居なかったため、何日か点滴だけで大変な目に遭いました。専門医がいなかったら、患者の様子をよく見て、信大等へヘリコプターで送る等検討して欲しかった。	飯田	2		市立病院へ申し送る
276	88	議会	・都市部と山間地に差があり、もう少し良い政策をお願い申し上げます。買い物するには店が遠くて困ること。医者へ行くのに遠くて困ること。年をとると良いことはないです。どうか、できたらお願いします。	飯田	1	A	地域包括ケアシステムの構築を調査・検討(同上)

27年度 議会報告会分科会に寄せられた意見・要望 社会文教委員会

全体 番号	番号	要望先 議会・市	意見・提言・要望等 取扱結果「A」…委員会として調査・研究、「B」…行政評価の評価対象、「C」…その他聞き置く	ブロック	分科 会	委員会の 取扱結果	取り扱い結果に至った理由等
277	89	議会	・少子化に関して、市立病院の立場として「自然分娩」を認めておられませんが、上伊那との現状の違いで若い人の移住が減っている点について考えていただきたいと感じました。	遠山	2	C	聞き置く
278	90	議会	・議員に対して、今後の保育園について期待する。	遠山	2	C	聞き置く

平成 27 年度 議会報告会の反省・総括について

10 月 1 日～8 日までの議会報告会大変ご苦労様でした。今年度の報告会を反省し、市民の皆さんの意見を受け止め、来年へつなげていくため各委員会で反省点等意見集約をお願いいたします。

12 月 15 日の広報広聴委員会で論議する予定ですのでご報告をお願いいたします。

1. 主催について

現在はまちづくり委員会と共催となっているが、今回議会が主催となる意見もいただいた。どのようにしていくか。

竹村 圭史	議会のみで 1 回開催し、課題を洗い出した上で共催とするか検討することも一案
福沢 清	まちづくり委員会のメンバーが市政に対して一番かかわりが多いともいえる現状なので、今のような共催としたと思うが、本来議員が主催して人集めを行ってみたらどうか。（各種団体に呼びかける。自治会回覧は現行どおりとする
後藤 荘一	まちづくり委員会に頼らない報告会も必要と思う
まとめ	

2. 参加のきっかけ、参加者数、年齢層について（アンケートの結果を踏まえて。）

幅広い年代層に参加してもらうためには

竹村 圭史	開催する曜日や時間帯、時期により参加者は偏るもの考える。理想ではあるが、地域行事等のからみもあり、現実には難しいのでは、ないか
福沢 清	1 と関連するが、PTA や消防団などへの呼びかけを議員自らが行うことが必要ではないか
後藤 荘一	高校や短大に出かけて行っても検討してみてもどうか
まとめ	

3. 日程について

10月上旬に日程を詰めて開催したが、このことについてはどうか。

竹村 圭史	よいと考える
福沢 清	資料の作成に時間をかけると9月議会の終了にもよるが、10月中旬から下旬となるのではないか
後藤 莊一	とくに支障はなかった
まとめ	

4. ブロックごとの開催形式、実施回数について

市内20地区ごとの開催、1年に2度開催の意見もあるがどうか。

竹村 圭史	ブロックの細分化を試みてはも一案。竜東4地区→2地区ずつ。中部4地区→2地区ずつ。飯田5地区→橋北・橋南・それ以外など
福沢 清	5にも関連してくるが、班分けをして20地区で行うよう検討したらどうか。4月、5月に二度目の議会報告会を検討したい
後藤 莊一	可能性の検討
まとめ	

5. 議員の参加体制について

(1) 班分けをして開催する方法、あるいは自分の所属委員会以外への参加

竹村 圭史	実施方法により対応が異なるため、現時点では意見なし
福沢 清	4とあわせて検討する
後藤 莊一	テーマ毎の分科会方式の方が意見が分散しなくて深められると思う
まとめ	

- (2) 他の分科会の見学に議員が行くことについて
(従来どおり分科会を常任委員会で運営する場合)

竹村 圭史	必要性を感じない
まとめ	

6. 報告会の形式について (アンケート結果を踏まえて)

- (1) 全体会→分科会→全体会という流れはどうか

竹村 圭史	よい
福沢 清	はじめの全体会は議会報告会の趣旨について簡単に説明すればいいのではないか
後藤 莊一	当面これで良いと思う
まとめ	

- (2) 時間配分

①全体会と分科会

竹村 圭史	よい
まとめ	

②分科会 (委員会報告と意見交換会)

竹村 圭史	報告は 10 分以内。意見交換をより多く
まとめ	

- (3) 内容（常任委員会ごとの分科会となっているが、課題ごとの分科会を実施する提案、他の分科会の様子がわからないので、大きな共通項目を参加者全員で話し合う提案があった）

竹村 圭史	実施方法により対応が異なるため、現時点では意見なし
福沢 清	分科会のはじめの説明は、プロジェクターを使うなどわかりやすく、短めで良いと思う。参加者全員で大きなテーマを話し合うということも提案されたが、意見が大人数では出やすい環境ではない
まとめ	

7. 分科会の内容について（アンケート結果を踏まえて）

(1) テーマ設定はどうであったか

竹村 圭史	よい
福沢 清	第2分科会としては良かったと思う
まとめ	

(2) 分科会の説明

竹村 圭史	よい
福沢 清	説明は第2分科会は良かったと思う
まとめ	

(3) 分科会の配付資料について

竹村 圭史	よい
福沢 清	資料の事前配布は難しいが、検討してみる必要はある
後藤 莊一	9月議会の報告をもう少しわかりやすく
まとめ	

8. 現在の市議会に対する意見について（アンケート結果をどうとらえるか）

(1) 議会・議員に期待すること

福沢 清	地域課題解決に向けて努力したい。議会だより以外の情報を活用していただけるよう検討していきたい
まとめ	

9. その他（気がついたこと等）

中島武津雄	現状どおり
まとめ	

議会報告会を起点とする政策提言への取り組み

◎2015 年度議会報告会のテーマから今後の調査研究を行う事項

1 議会報告会のテーマの確認

病気になった時、病院や診療所の『かかりつけ医』は持っていますか
～子どもから高齢者まで、『健康で安心して暮らせるまちづくり』をめざして

2 かかりつけ医を持っていますか（参加者への問いかけ結果）

ブロック	竜東	中部	西部	北部	5 地区	遠山
割 合	80%	66.7%	54.5%	81.4%	86.2%	83.3%
かかりつけ 医がある	12 人	12 人	6 人	35 人	25 人	20 人
出席者	15 人	18 人	11 人	43 人	29 人	24 人

3 議会報告会から出された参加者意見の主な意見

- ・介護サービスについてヨーロッパのような社会の構築が必要。親を見る思想が薄くなっている。遠山は在宅医療が難しい地域。片町先生がいるときは安心感があった。
- ・地域包括支援センターは現在 4 か所。生活圏に対応して 7 か所に増やしていくことが市は 10 年後というが、少しでも早くなって欲しい。
- ・介護施設を増やすことを希望する。特養等の入所施設を増やす。同様意見 3 件 北部 2
- ・地域包括システムが平成 28 年から導入される。民間参入となるので議会が目を見守って欲しい。同意見 1
- ・市長は介護ベット数が確保されていることを言っていたが、介護を支える側が少ない。介護職員の取り合いが行われているのが現状。介護の担い手を増やすことが必要である。
- ・在宅介護のサービスを受けるとなると、家族の負担が大きくなることは間違いない。一人の介護をするということになれば、もう一人必ず家にいなければならない。今のご時世、財政面から見て完全に家に入ってしまうと収入が減少し家計が苦しくなる。働ける人＝若い人であるので、少子高齢の均衡から見ても若い人が少ない。親を見るということで家に入ってしまうと負担が非常に大きくなってしまう。
- ・看取りも在宅の方向になっていく。訪問介護が今後は必要になる。
- ・市立病院へ行きたいが、待ち時間が長く、半日では終わらない。市立病院に行くには紹介状が必要になるが、頼んでも紹介状を書いてくれなかったりする医院がある。
- ・独居老人について訪問診療が定期的にできていない。出張費や薬代など高額なことで難しいかもしれないが安心して暮らすことに成っていない原因と思われる。

・遠山ではいつでも診療できる体制は無理。阿南病院でも30分くらいかかる。高齢者で具合の悪い人は集会所にも行けない、またその人を連れてこれない状況。かかりつけ医は時間外にならばいけない。

・地域医療システムで在宅医療が書かれているが、遠山では医者がある時間が少ない。夜間になると不安。

・千代・上久堅・龍江は病院に遠く行くのに20分から30分かかり遠い。子どもが急に具合が悪くなったときに近くの開業医や診療所へ電話しても「今日は休診」だと「今日はやっていない」ということが多く、なかなか「かかりつけ医」という話がでても医者を特定できない。

・在宅医療と看取りの関係について、診療所（開業医）の関係はある程度家まで来てくれるが、他の病院はなかなか来てくれない。その体制を地域包括ケアシステムにするということは先生たちの教育が大変なことではないのか。実際、かかりつけ医は昼間は診てくれると思うが夜は駄目だ。

・在宅医療について、高齢者の方が診療所の先生が夜飛んで行ってくれるが、特に「看取り」までとなると本当に対応していけるものなのかどうか疑問である。

・飯田市には回復期（リハビリ含む）の病院が少ない。不足していると体験から感じているので充実していただきたい。同時に在宅医療も充実していただきたい。同意見1

・別居暮らしをしていた親が高齢化してきたため同居するようになり、かかりつけ医が必要になって悩んだことは、大部分の医者が専門化しているので総合的に判断して対応してくれる方がいると助かる。

・簡単な病気であれば医者同士、専門医同士が連携（診療連携）して大病院へ行かなくても対応できる体制が必要ではないかと感じた。

・主治医と話す中で内科の中にも細分化された専門領域がありその症状を診る専門医がい
ないと言われた。患者側が積極的に話をして求めていかないと、内科という大枠に包み込まれてしまい「内科はすべて内科」と解釈していたことは個人的にまずかったと感じた。

・飯田もご多分に漏れず高齢化社会で、医療についてはどの先生も頑張っていると思うが、高齢者に力を入れるとするならば日本の中でも稀にみる専門医を招聘し、飯田の医師会を改革していく先生がほしいと感じている。

・たまたまある病院で「飲み込み」ができないことがあり、4月に東京から日本の中でも多くの実績をもった専門医が招聘され、医師会の中でもきつとこの地域で専門分野でのリーダーを担う人物と言われ囁かれ、また、飯田から医療を発信したいという情熱を持っている先生に出会ったことから、特徴をもって医療に携わってもらえる先生が増えるとありがたい。

・高齢化で老老介護の現状だが、現実には経済的、身体も限界がありもっと公的支援が必要だ。在宅介護も理想だが、可能となる医療体制の充実が求められる。

・都市部と山間地に差があり、もう少し良い政策をお願い申し上げます。買い物するには

店が遠くて困ること。医者へ行くのに遠くて困ること。年をとると良いことはないです。
どうか、できたらお願いします。

4 調査研究事項の絞り込みと各団体等との意見交換会（28年1月～8月予定）

議会報告会で提出された意見を以下のように課題として整理しました。

(1) 地域包括ケアシステムにおける「医療」分野の状況把握

ア 飯田市医師会等

イ 「医療」分野の現状を勉強する

(2) 「介護」分野の状況把握

ア 関係する法人、団体

イ とくに施設入所希望、「特養」等の経営状況について勉強する

(3) 従事者の育成、確保、離職の状況把握

ア 関係する団体、法人

イ 看護師、介護職の状況について調査する

(4) いわゆる介護離職についての状況把握

ア 関係する団体、個人？

イ 働きながら介護をし続けることができるにはどうするか

ただし、(3)・(4)については、(1)及び(2)で懇談する団体等にも意見を伺う。

5 調査後の検討テーマの設定と議員間討論（10月～29年1月予定）

(1)委員会としての案（12月頃までに）

(2)政策討論会（29年1月予定）

6 政策提言（29年3月予定）

できれば、なんらかの形にして、市側へ提言を行いたい。